

M A D
aking rt iffereent

アートを

考える 作る 仕事にする 知る 見る 楽しむ
育てる 語る 広める 変える 愛する 疑う
味わう 読み解く 試す 見直す 味見する 助ける
再生させる 批判する 見つめる 信じる 裸にする
料理する 食べる 呑み込む 笑う 悼む 護る
洗う 調べる 攻める 感じる 捉える 聞く 遊ぶ
転がす 温める 冷やす 直す 伝える 受け取る

ための学校

MAD: School of Contemporary Art, Daikanyama, Tokyo

コース・ディレクター=小澤慶介(AIT)/ロジャー・マクドナルド(AIT) 講師(敬称略・50音順)=池田修(BankART1929 代表)
/遠藤水城(フリーランス・キュレーター/rhythm 代表)/小沢有子(AIT)/貝島桃代(建築家/アトリエワン)/木奥恵三(フォト
グラファー)/北川フラム(大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 総合ディレクター)/古平正義(アートディレク
ター)/住友文彦(東京都現代美術館 学芸員/AIT)/辻憲行(フリーランス・キュレーター)/中村政人(美術家/東京藝術大
学助教授)/永吉文子(SCAI THE BATHHOUSE)/南條史生(森美術館 館長)/長谷川祐子(東京都現代美術館 学芸課長)/
畠山直哉(写真家)/帆足亜紀(アーカスプロジェクト ディレクター)/保坂健二郎(東京国立近代美術館 研究員)/三浦末雄
(ミヅマアートギャラリー 代表)/森弘治(アーティスト)/柳下朋子(ARTiT 編集部)/吉本光宏(ニッセイ基礎研究所) 他



Arts Initiative Tokyo

開講7年目を迎える2007年、大きく変わります。

MAD(Making Art Different = アートを変えよう、違った角度で見よう)は、NPO法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト]が2001年に開講した、独自の講義と現場の議論を重視するエデュケーション・プログラムです。

2007年度は、新たに選択制講座を導入し、国内外の現代美術の現場で活躍しているキュレーターやアーティスト、美術評論家、建築家、デザイナー、ギャラリスト、研究者などをゲスト講師に迎えます。MADでは、美術史や美術理論の基礎に加えて、文化政策などを含む社会や経済の動き、社会思想や哲学などを積極的に参照することにより、現代美術の多様さや複雑さをより深く広く読み解く、学際的で多視点的なプログラムを実現しています。

開講する5つのコースにおいて、受講生は各コースの必修レクチャーのほかに、「フリー・ブロック」とよばれる選択講座から指定された数の講座を選択することができます。レクチャーは、すべてAITルーム(代官山)で行われます。

展覧会をつくる／現代美術を深く知る

NEW

キュレーション・プラクティス(実践)

キュレーション(展覧会の企画・制作)の歴史や理論、美術史や社会思想をふまえ、グループで展覧会の企画立案を行い、実現することを目的とするコース。テーマの設定、アーティストの選択から予算組み、運営まで、キュレーションに関するあらゆる作業を総合的に行う。

2007年4月開講／12ヶ月コース／定員=12人／¥229,950(税・諸費用込)

NEW

キュレーション・ベーシック(基礎)

キュレーションの歴史や理論、美術史や社会思想など、今日の現代美術のキュレーションを支えている状況を理解した上で、キュレーションにおけるテーマや歴史、形式の可能性、あるいはアーティストの作品について研究を行い、発表するコース。

2007年4月開講／12ヶ月コース／定員=20人／¥201,600(税・諸費用込)

現代美術と社会をつなぐ

NEW

アート＋コミュニケーション

前期の「美術史編」では、美術や美術史の基礎的な知識を身につけ、後期の「公共と美術編」では現代美術をより多くの人々と分かち合う方法について考えるコース。後期では、都内の美術機関へのフィールド・トリップも行う。「美術史編」のみ、「公共と美術編」のみ、あるいは両方の3パターンで受講可。前期:2007年4月開講「美術史編」/後期:2007年9月開講「公共と美術編」/各4ヶ月コース/定員=各回20人/各回¥79,800(税・諸費用込)

「アーティスト」として活動するために

アーティスト

「美術界」や「アーティストの自立的な活動」などについてのレクチャーと、キュレーターや美術評論家をゲストに迎えて行う模擬プレゼンテーションをおし、作品の理論的バックアップやプレゼンテーション・スキルを学ぶコース。

2007年4月、9月、2008年1月開講/各3ヶ月コース/定員=各回12人/各回¥38,850(税・諸費用込)

世界のアートの「今」を読む

マガジン

海外のアート雑誌やウェブの英文記事を読みディスカッションを行うことで、世界各地で展開する現代美術の「いま」を読み解くコース。

講読する雑誌の例: Art Asia Pacific(アメリカ)/Art Forum(アメリカ)/Frieze(イギリス)/Contemporary(イギリス)など

2007年4月、9月、2008年1月開講/各3ヶ月コース/定員=各回12人/各回¥36,750(税・諸費用込)

特別講座

2007年度は、4日間集中の特別講座として「ニューメディアとデジタルの政治学」、「写真と映像の歴史」、「建築と美術館」、「アートと空間の政治学」、「戦後の日本美術史」の5講座を開講します。

MAD2007 全コースの説明会「MADオープンデー」

各コースの概要説明の後、皆さんからの質問を受け付けます。定員=各回40人/参加無料

開催日時=2007年1月20日(土) 13:00~14:30 / 2007年2月9日(金) 19:00~20:30 / 2007年3月2日(金) 19:00~20:30

お申し込み=件名を「MADオープンデー参加希望」とし、住所、氏名、電話番号、興味のあるコース名を明記したメールを、office@a-i-t.netまでお送りください。

資料請求・お問い合わせ・お申し込み

MAD2007全コースおよび特別講座の資料請求とお申し込みは、件名を「MAD2007資料請求」とし、住所、氏名、電話番号を明記したメールを、office@a-i-t.netまでお送りください。後日、リーフレットとお申し込み用紙を郵送いたします。AITのホームページでも詳細およびお申し込み方法についてご覧いただけます。

Arts Initiative Tokyo [AIT/エイト]とは?

AITは、国内外で活動するキュレーターやアート・オーガナイザー6名が、現代美術と文化を考えるための場作りを目的として、2001年に設立した団体です。2002年には、東京都より特定非営利活動法人の認証を受け、教育プログラムのほか、国内外のアーティストやキュレーターを対象としたレジデンス・プログラム、アーティストやキュレーターなどによるトーク、シンポジウム、ワークショップなどのイベント・プログラムを行っています。AITは、個人や企業、財団あるいは行政と連携しながら、現代美術の複雑さや多様さ、驚きや楽しみを伝え、それらの背景にある文化について話し合う場を創り出しています。



特定非営利活動法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト]

150-0033 東京都渋谷区猿楽町30-3 ツインビル代官山A-502 E-mail: office@a-i-t.net Tel: 03-5489-7277 Fax: 03-3780-0266 http://www.a-i-t.net